



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: おぶらーと さん からの質問  
フラミンゴの展示場には屋根がありませんでした。  
フラミンゴは飛んで逃げたりしないのですか?

ご質問、ありがとうございます。

たくさんの鳥たちの展示場の中には、屋根がついている展示場と、ついていない展示場があります。フラミンゴの展示場には屋根がついていませんが、どうしてフラミンゴは逃げないのでしょうか。

今日は、鳥の展示のヒミツについてご紹介していきたいと思います。



フラミンゴが飛んで逃げない理由は、2つあります。

1つめは、飛ぶことができないように処置を行っているからです。羽があれば飛べる、と思われがちな鳥ですが、実は体のバランスや羽の状態が整わないと、しっかり飛ぶことはできません。そのため、左右どちらかの翼の風切羽を切ることで、普段の生活には支障がない程度に左右のバランスを崩しています。ただし、風切羽は1年に1回、もしくは数年に1回生え変わり、新しい羽が生えてくるので、飛べるようになる前に定期的に羽を切る必要があります。



2つめは、施設の構造です。フラミンゴのような大きな鳥は、スズメのようにその場で飛び立つことはできず、飛び立つ前に助走が必要です。そのため、展示場が飛び立つのに十分な距離がなければ、飛び立つことができません。フラミンゴの場合、助走は25mほど必要だと言われているので、当園の展示場は直線で25mが取れないように円形に作られています。

フラミンゴ以外の鳥でも、ハクチョウやカモなどの水鳥は、陸上や水上で多くの時間を過ごすため、処置をして屋根なしの展示場にいます。しかし、ワシやタカなど主に樹上で生活する鳥は、飛ぶことができないと生活に支障が出てしまうので、屋根付きの展示場で自由に飛べるようにして展示をしています。